

## 福岡市 × 社会環境学科 PBL

### 福岡市のごみの課題、大学生が PBL として取組み 福岡市環境局様に課題解決策の提案発表会を実施しました

本学では今年度の前期に、社会環境学科のコース必修「フィールドワーク」科目において、福岡市環境局様と連携し「ごみの減量推進」に関する課題をもとに解決策提案のための調査に取り組みました。学生は、大学周辺の一般住民の食品ロスに関する意識、福岡市の古紙回収の現状、マイボトルの普及に向けた課題などについて、アンケート調査やインタビュー、メール・電話での聞き取り調査で情報を収集してきました。

8月7日、福岡市環境局の職員様5名に参加いただいた課題解決策の提案発表会において、本PBLに臨んだ社会環境学科3年生9グループ(33名)が、福岡市が減量施策の重点3品目に挙げている古紙、プラスチックごみ、食品廃棄物に係る課題の解決策について提案を行いました。

ごみ減量に関する学生の課題解決発表の概要

班	品目	タイトル	課題やテーマ	提案内容
1班	食品廃棄物	SNS に見るフードドライブ普及の可能性	フードドライブを行っている会場・回数が少ない	Jリーガーへの SNS による発信依頼 福岡出身の著名人への宣伝の依頼
2班	プラスチックごみ	福岡市におけるマイボトル普及に向けた課題	ペットボトルごみの量を削減	給水機の新聞やテレビなどでの宣伝 マイボトル給水機への水以外の導入 マイボトル洗浄機または洗浄場所の設置
3班	古紙	古紙回収ボックスの利便性について	古紙回収ボックスの利用率が低い	夜間照明の設置、看板デザインの工夫、設置場所、駐車場併設、ポイントの付与など
4班	古紙	福岡市内における4年制大学の古紙回収ボックスについて	大学での紙ごみのリサイクル率の低さ	学生が多い時間帯にのぼり旗やチラシを活用した啓発活動により、広く宣伝する
5班	食品廃棄物	食品ロスに関する意識調査に基づく分析と考察	食品ロスに関する意識調査	フードドライブの増設、年齢層毎の効果的な情報発信による認知度向上。
6班	食品廃棄物	コンポスト普及による食品廃棄物削減の可能性	コンポストの普及	1.SNS、コマーシャルによる啓発 2.講演会やイベントの企画 3.堆肥の回収方法の変更
7班	古紙	福岡工業大学における古紙回収に関する調査	古紙回収率の低さ	SNS での回収活動報告 回収した古紙からトイレトペーパー制作
8班	プラスチックごみ	関心と環境配慮行動から見るプラスチックごみ削減方法	プラスチックごみの排出量削減	プラスチックごみ排出量削減の取り組みに関するポイントアプリの制作
9班	プラスチックごみ	若者世代のプラスチック製品に関する意識調査	ゴミ分別の知識、意識に関するデータを分析し、効果的な意識づけの方法	学校での実践的な教育を取り入れる 例1 学校の課題でゴミ分別を家庭で行わせる 例2 家庭科の授業で実際にやってみる

提案発表は、1班ごとに10分の発表と5分の質疑応答が進められ、全体講評を含めると3時間半の発表会となりました。

発表後の全体講評では、福岡市環境局の方から「今回調査した内容や勉強した内容を全て伝えなかった中で発表用に数枚のスライドにまとめる作業は大変だったと思う。今後の提案として、現地に赴いた際は、なぜ現状がそうなっているのか、そこに関わる人たちの生の声を聞いて、自分たちとしてはどのようにすべきかという視点があると嬉しい」といった感想や、「いろいろな提案を聞いて、試行錯誤しながら進めたのを感じた。学生視点の分析、提案を聞いて勉強になった。提案の実効性について、より踏み込んだ検証があるともっとよくなる」といった感想が聞かれました。

最後に担当教員の渡邊教授より「限られた期間の中で結果を出すのは大変だったと思うが、そんな時こそチームワークが重要。今後の卒業論文や社会に出た際に、今回の授業で学んだことを活かしてほしい」とエールが送られました。(社会環境学部社会環境学科/社会連携センター)



緊張感ある  
提案発表会の様子



環境局ごみ減量推進課で質問の様子



ごみ減量推進に関する  
提案発表を真摯に行う学生達



最後に、渡邊教授より総括